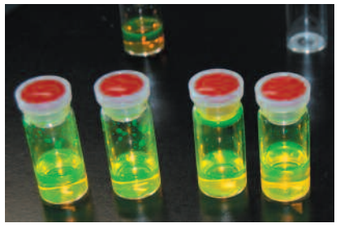
チームワークで伝えた「蛍光色の心」

小野学園女子中学・高等学校 **新田理佳子**

新田理佳子さん

小野学園女子中学・高等学校
（東京都品川区）

今回のために準備した紙芝居



実験成功！鮮やかな蛍光色が現れました

どうしたらわかりやすく、楽しく伝えられるのか……一生懸命考えました

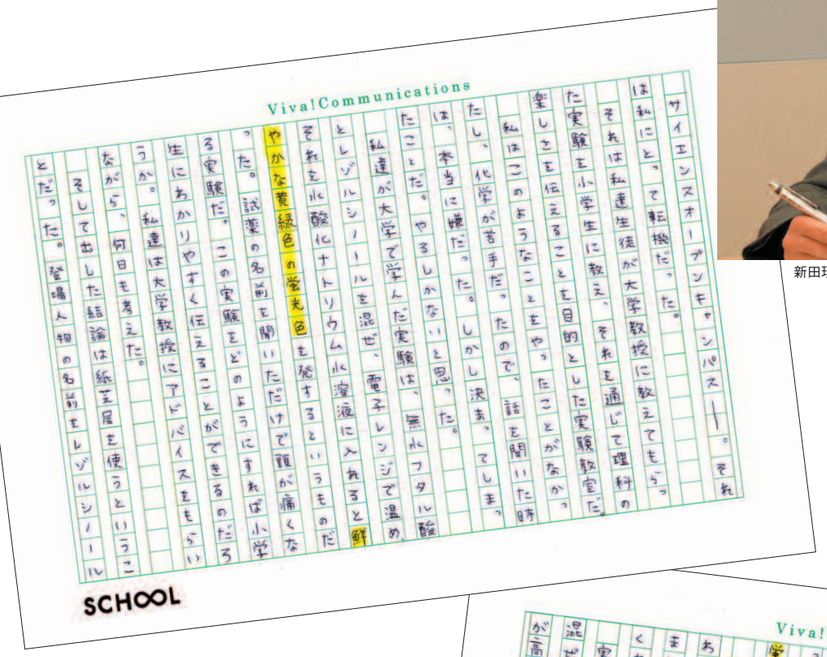
第12回は、東京都品川区・小野学園、新田理香子さんが、「サイエンスオープンキャンパス」で学んだ、「伝える難しさ・伝える喜び」がテーマです。

「サイエンスオープンキャンパス」は、理科実験教育に重きを置いている小野学園で実施されており、生徒が大学から学んだ実験を小学生を相手に実施して、理科の楽しさを伝えると同時に、生徒自身の問題解決能力、対話力、プレゼンテーション力を育てることを目的としています。

今回の実験は、電子レンジを使って透明な液体を鮮やかな黄緑色の蛍光色に変えるというもので、新田さんたち4人のメンバーは、これをどうわかりやすく、楽しく小学生に伝えるか、という課題と格闘する中で、さまざまなことを学びました。元々化学が苦手な新田さん、最初は嫌だと思いましたが、やると決まった以上、ベストを尽くそうと決めました。人に伝えるには先ずこちらが充分に理解する必要がある。理解しても、それを学年もいろいろな小学生にどう伝えるのか…

みんなで何日も考えた末、キャラクターを登場させて親しみやすくし、紙芝居やクイズ形式で楽しく参加できるよう工夫を凝らしました。少しでもきれいな色を出してより大きな感動を伝えようと、連日遅くまで残って三十回以上の実験を繰り返して…

結果は実験大成功。鮮やかな蛍光色が現れ、教室は小学生の歓声と拍手で一杯に。そこには、多くの議論と試行錯誤の末に課題を見事に解決し、チームワークや、相手の立場に立って考える「対話力」を学んだ新田さんたち4人のメンバーの清々しい笑顔もありました。



手分けしてテーブルを回り、細かくフォローしました